

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 日本政府現地出先
機関（日米琉諮問委員会日本政府代表） 2

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43425

高瀬代表上京

高瀬大使 日程 (予定)

43. 2. 14
米. 北.

2月14日 (水)

13:35 羽田着 (NW 2)

挨拶 (大使. 次官. ^{各省} 知事等)

北米局と打ち合わせ

17:30 記者会見 (於 外務省)

北米局長主催夕食会

2月15日 (木)

挨拶 (総理)

10:00 " (田中総理. 大木. 山崎
西別長. 於 総理府)

2月16日 (金)

11:00 "4-7419" (於 親友会館 ^{控室})
(北米局長. 参事官. 北米局長 ~~等~~)

2月17日 (土)

自由

2月19日 (月)

挨拶 (国会. 自民党田中)

2月22日 (木)

18:30 大使主催晩餐会 (於 水戸会)
(总務長官. 西別長官. 特選印長
次官. 辻澤参事官. 北米局長. 参事官.
高杉公使 同席)

高瀬大使日程(予定)

月日	時間	日程	備考
2/14(水)	13:20 ³⁵	羽田着 羽田着 挨拶 大臣、次官、近藤審議官、官長 北米局と打合せ 17:30 記者会見(於外務省) 記者会見 (北米局長主催) 高瀬公使 大河原参事官、北米課長 堂、助、佐藤、各参事官	四 局長? 課長
2/15(木)	10:00~	挨拶 総理、総務長官、副総務長官 総理補佐官 大津南方向肥後博覧会之長 衆参中務局長 自民中務局長 副総務長官 (於総理府) 八木、島田参事官 (")	

GA-6

外務省

2/16(金)	11:00~	フリーランス 慶友会館 (北米局長、参事官、北米課長)	フリーランス 講義 会場別室
2/17(土)		自由	
2/18(日)			
2/19(月)		国会、自民党(南)側方面挨拶	
2/20			
2/21			
2/22	18:30	大元元勳院(於、平本) 同席 総務長官、副総務長官 山野 博通 参事官 牛場 次官、山崎 洋次 参事官、 東郷 啓吉 参事官、大河原 参事官 平本 公博	

GA-6

外務省

○機内特送
 ○通信 114-43-18
 注意
 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
 2. 本電の注管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外官	68年2月28日 15時00分	7	1	送
務務房	68年2月29日 09時00分	本	省	着
次次				
臣官官				
領(入)計(会)領密	外務大臣殿	高瀬(大使)	臨時代理大使	總領事 代理
總(長)電(領)旅				
国(資)長(調)給厚				
ア(北)京				
長(總)中(西)				
長(北)保				
中(參)南				
長(中)往				
歐(參)東				
長(西)東				
近(參)ア				
長(近)近				
經(商)米(ア)二(カ)歐				
長(統)ラ				
長(總)国(一)通(ス)				
經(參)經(賠)償				
協(政)按(賠)經				
長(國)經				
余(參)協				
長(條)規				
國(參)單(社)專				
長(政)經(科)				
備(參)内				
長(通)外				
文(文)一(二)				

高瀬大使の着任

米ノ野平
 本使の28日アガ一高瀬新参官が松岡
 主事の先迎えを受け、那覇空港に到着
 着任した。
 総参事官に少休を乞う。

(13)

秘

No. 1

高瀬大使とアンガー高等弁務官の
会談について

高等弁務官に対する諮問委員会の日本政府
代表高瀬大使は、6月28日当地に着任し、
同日午後直ちにアンガー高等弁務官に対し、長敬
訪問を行なった（本所長及び当地出張中の外
務省北米課長、協弁務官随行）ところ、この
際アンガー高等弁務官の発言中注目された要
点を下記の通り報告する。

記

1 高等弁務官は特に沖縄の経済発展の
面での成果を指摘しつつ、沖縄統治に對

日本政府

43年

No. 2

高瀬の自信の程を次のように述べていた。自分は

沖縄にあり、陸軍の司令官及び海軍の司令官

であると同時に quasi-state としての沖縄の

元首であり、いわばその帽子を被っている

が、最近では自分の仕事の内容が

の第三番目、沖縄統治の責任者としての

仕事で占められている。また自分は今まで

現地人と同じ気持ちで沖縄の発展に盡力

している。沖縄の人達は一木一草甘みまで

熱心と化して戦争直後から出発しなければ

は行かないといふことを考えると最近の発展が

早い。これは世界でも最高の部類に属するGN

日本政府

Pの伸心率と、いゝ異に於ては、
 思)。米と本土との格差をなくする
 目的、自分もこの方向で努力して
 参る。最近の諮問委員会がよい
 意見を提出してくれ
 る。B-52問題については、
 日米関係の昨年11月の佐藤
 ジョーンソン会談で一層
 強化された。佐藤総理と
 ジョーンソン大統領との
 "great statesmanship"を
 賞して、まことに、日米が
 正面衝突するも、沖縄
 問題を契機として、日米
 友好の基盤を強化する契機
 となることに成功した。

この、雰囲気が存在して、
 沖縄の野党も、
 何を言ふ、材料がなくて、
 何が良、材料がな
 いものが採り求めている
 ところ、折悪しく、B-
 52が沖縄へ来て、
 野党はそればかりに
 こだわった。これは残念な
 出来事であった。
 3. 松岡主席については、
 自分は主席を全面的に
 信頼して、
 自分も、
 11月の
 主席公選に立候補する
 ことが、
 大問題と甘んじている。
 主席は自分(高

高野務君)にはもう身だし 疲れたから出島に
 日にと浅うはりにしているが本心は判らぬ。
 彼の甘んが放言は ("fogy" という表現を
 用いた) 男である。
 4. 高野務君は自分の補佐官兼通訳
 であるサンキ (山崎) 長に次のように
 述べた。 Colonel Sankey は自分の右腕
 である。彼は日英両国語が出来たわけ
 が沖縄の出身だから沖縄の方言をさくし、
 沖縄の指導者達の船人との切は馴染
 み知っていた。しかも沖縄の各界の
 人達の誰からも信頼されて下 秘密

をよくまとめるので大変よろしい。
 5. また 諮問委員会が初報告書内容を公
 開するに比べて (は 次のように) 述べた。
 自分はこの報告書では日米英同のコミュニケに既
 に述べられていること等 要するに公開の席で
 発言して差支えはないことしか発言し甘んが
 公開にすることを提案したのである。しかもこの
 会議では二の程 増築された棟に完成した作
 りの切で 諮問委員会がこれを始めて使用
 するにほかならぬ。
 6. 高野務君のビルマ駐在に他は

米國大使より高瀬大使の紹介状を受取った
ニト及ハ同大使が在野フエストボイストに
初作及同期生で在りニト述べて在り。

本信号送付先 外務大臣

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡あり

電信写

大政事外信
務務次官
臣官審審長

人計領
文電領
國参資
資長調
ア北東
長総中西
北米保

中参南
移長中住
歐参支
長西東
近参ア
ア長近

経前國米ア
参調流ラ
國近

長一適ス
経参経贈
協政技贈

長国贈
条参協

長条規

國参軍社專

長政経科

備参内
長道外
文文二
文一

総番号 (T.A) 13586
68年04月08日12時15分 オキナワ 番着
68年04月08日12時51分 本省 番着
外務大臣殿 高瀬 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

観桜会

第26号 平 秘 扱

本使、在京中に総理府筋より得たる情報によれば、本年夕月の観桜会に当地よりア
ンガ一高等弁務官、瀬長、バース代表及び
松岡首席各夫妻ならいに本使を招待するの
趣なる所。右については確定的のもの
と心得てよろしきや、かつまたその日時に
つき大至急御回電煩わしたい。(了)

秘

古
長
系

航空便
書留速達

大至急

タイプ指示	発信用	執務用	計
主 信			2
付	2の21添付		
属	付属校査渡		

発送 昭和43年4月9日
 発信 タイプ 校 査

文書課		公 信 案 (分類)	
公 信 番号	米地 第 4 号	公 信 日付	昭和43年4月9日
大 臣	主 管	起案 昭和 43 年 4 月 8 日	
政務次官	北米局長		
事務次官	参事官		
外務審議官	北米課長		
官 房 長	主 任	起草者 吉川	電話番号 445
儀 典 官			
受信者		発信者	
在 那 覇 日 米 琉 球 諮 問 委 員 会		臨時付記	
高 松 大 使 館		外務大臣代理	
日本政府代表高松待郎		椎名悦三郎	
写送付先		(希望発送日)	
		月 日	
件 名			
觀 光 会 招 待 状 の 送 付			
GA-2		9 4 外務省	
		回覧番号	

ここに申し添える。
 追って、松岡主席の招待状は總理府
 より、またアッカー高等弁務官、カーペンター
 氏政官と、バーンズ諮問委員米政府代表
 の招待状は在京米大使館より別途送
 付の手配したるに、参考まで。

付 属 添 付

觀 桜 会 招 待 状 の 送 付

貴電第26号に因り、

貴使^{代表}の^{代表}瀬長代表と本件招待状別

添送付す。

なお、貴使^{代表}と招待状は夫妻ととら

いり、右につき總理府に確認し、

單身と招待状は印刷し、

本招待状と使用あり、旨説明す。

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政務次官	外務省
事務次官	房
官官	審長
(録)	人計会 領審
(録)	文電領 旅審
国参長	参 調 給厚
ア参長	心 東
長	総 中 西
北米参長	北
中移参長	参 南
欧参長	中 住
長	参 英
近参長	西 東
近参長	参 ア
経参長	次 南 国 米 ア
長	参 閣 二 カ 歐
経参長	参 閣 統 ラ 近
協参長	総 国 一 通 ス
長	参 経 贈 償
協参長	政 技 贈 償
長	国 贈 償
条参長	参 協
長	条 規
国参長	参 軍 社 專
長	政 経 科
情参長	参 内
長	道 外
文参長	文 一 文 二

総番号 (1A) 74070
 68年4月10日 17時40分 ナハ 発着 北米
 68年4月10日 19時04分 本省 着
 外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

(観覧会招待)

第28号 平
 北米局長へ
 貴電第11号に同じ。
 接用の好機会と存せられるにつき、17日頃アンガー高等弁務官、バース・瀬長両代表、岡首席、西銘市長各夫妻及びジョンソン大使夫妻を本使主催の非公式晩餐会に招待致したく、場所は新喜楽を希望するにつき右についての貴見新喜楽の都合と共に折返し御国電願いたく、なおジョンソン大使都合悪しき節は関係者のみにて設宴致したくにつき右併せて御配慮ありたい。

(3)

北米局長

参事官

北米課長

43.4.17

北米課

高瀬大使日程について

高瀬大使は下記日程により上京との事。1ヶ月前参考。 (南連の電話で聴取。電打電方申入+JAL)

記

4月16日 20:25 那覇発 JL 904

22:40 羽田着

4月22日 (未定) 東京発

ホテル 未定 高瀬ホテル

GA-5

外務省

北米局長

参事官

北米課長

43.4.17

北米局北米課

高瀬大使日程

4月17日現在の大使の日程は下記のとおりです。

記

4月17日(水) 10:00 親睦会(於新宿御苑)

16:55 三木大臣表敬訪問
(於大臣室)

18:00 夕食会(於蜂巻)

18日(木) 12:00 特選局との連絡会議
(於北米局長室)

19日(金) 10:00 警庁長官往訪
(於長官室)

20日(土) 17:10 羽田発 沖縄へ
(JAL #903)

GA-6

外務省

(回覧番号 966) 外務省電信案 (分類)

特秘・極秘・秘・平文・館長符号 (朱印)	暗 略 (平)	総第 17145 号
平文	第 13 号	昭和 年 月 日 時 分 発 43: 4 = 13 14-12
	大至急・至急 (普通) LTF	発電係 (電)

電信課長 代付

(※印刷内は電信課記入)

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 官一房一長	主管 局(部)長 参事官 課長 課長補佐	主管局課名 北米局北米課 起案 昭和43年4月13日 起案者 東原 672 電話番号
---------------------------------------	----------------------------------	--

協議先 橋本 北米課

在 那 高 瀬 大使 総領事あて 外務大臣 臨時代理

電 報 在 大使 総領事あて 臨時代理

件名 高瀬大使の設宴

北米局長より

貴電第28号に關し

18日(新比) 17日(17日) 17日(17日) 17日(17日) 17日(17日)

満員) 招待を計るに由。 長手申失席に由。

長手申失席に由。

寫 濟

13 42

(昭和四〇・四一改正) GB-1

43, 76 特達

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外官 務務房 次次 臣官官審審長	總番号(TA) 19362 68年5月20日12時28分 68年5月20日14時53分	主管 ナハ 発着 本省 着
領人計合 文電領 國參資 長長 ア參北東 長中西 北參保 北米長北	外務大臣 璣 高瀬 (大使) 臨時代理大使 總領事 代理	
中移長 歐參英 長西東 近ア長	高瀬代表の上京	
經次商國米ア 二カ 國統ラ近 長一通ス	ア62号 平 至急	
協政技 長國	總務長官へ	
條參協 長參規	本代表5月29日、日航722にて当地	
國參軍社專 長政經科	発、6月2日、日航721(予定)にて帰	
條參內 長選外	任の予定と以て上京致したきにつき御許可	
文長文二	相成りたい。	
	なお、その期間、帝国ホテルにジュニア	
	スーートルーム留保方お手紙請う。	
	(3)	

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外官 務務房 次次 臣官官審審長	總番号(TA) 19367 68年7月5日17時17分 68年7月5日19時30分	主管 ナハ 発着 本省 着
領人計合 文電領 國參資 長長 ア參北東 長中西 北參保 北米長北	外務大臣 璣 高瀬 (大使) 臨時代理大使 總領事 代理	
中移長 歐參英 長西東 近ア長	高瀬諮問委員会日本政府代表の上京	
經次商國米ア 二カ 國統ラ近 長一通ス	ア84号 平 至急	
協政技 長國	總務長官へ	
條參協 長參規	本代表7月11日JAL902便にて当地發	
國參軍社專 長政經科	7月15日JAL721便にて帰任の予定と以	
條參內 長選外	て上京致したきにつき御許可相成りたい。	
文長文二	(3)	

回覧番号 2917 外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印)	符号表示 暗 略 (平) 総第 30225 号
平文	※昭和 年 月 日 時 分 秒 第 27 号
	大至急・(至急)・普通・LTF ※発電係 仁

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 近藤 外務審議官 官房長官 協賛先 官房総務参事官	主管 アメリカ局長 参事官 北米課長	主管局部課(室)名 北米課 起案 昭和 43 年 7 月 6 日 起案者 東京 672
--	-----------------------------	--

人事課長	官房書記官
------	-------

在 那 高瀬 (大使) 総領事	臨時代理大使 代理	三木 外務 大臣 発
-----------------	-----------	------------

電 在 報	大使 臨時代理大使	総領事 代理	あて
-------	-----------	--------	----

件名 高瀬諮問委代表の上京

貴電第84号に關し

許可す。外務大臣と協議す。

字 済

6 61

(※印刷内は電信係記入)

特達(向)と協試済

(昭和四二七一改正)

GB-1

93.7.8 特達2件

注意 (在米送付不要)

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外官 事務次官 官審審長	總番号(I.A) 26127 68年7月8日12時00分 68年7月8日13時53分	主管 ナハ 猪 米北 本省 着
領(人)會管計 文電厚給 領參旅移 長領領 國參 長調紙 ア參 長中西 米參保中 長非 歐參英 長西東 近ア 長近 經次面國米ア 二カ 參 長國一過 經參經 協政技 長國 參協 長条規 國參軍社專 長政經科 情參内 長道外 文文 長一二	外務大臣 高瀬 (大使) 臨時代理大使 總領事 代理	高瀬諮問委員会日本国政府代表の上京 時間の変更 *87号 平 総務長官へ 往電*84号に關し 11日のJAL 902とJAL 904に変更した。

(3)

外務省

人事

43.9.20 特達3部

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事務官
事務次官
官官官官官

備人(会)官計

文電厚給

價移長

國參

ア参北京

参中西

米参保中参

長北歐南

歐参英

長西京

近ア

長

長

長

長

長

長

長

長

長

長

長

長

長

長

長

長

港番号(TA) 37603 主管
 68年9月19日16時12分 ナハ 籍
 68年9月19日17時38分 本省 着 米北

外務大臣 高瀬 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

高瀬代表の上京

キ114号 平

本代表、現地情勢報告のため9月24日
 (JAL 904) より30日まで上京致した
 ので御許可相成りたい。

(3)

5518 外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印)	符号表示 暗 略 平	総第 43548 号
第 53 号	昭和 43 年 9 月 20 日 18 時 37 分	発電係
大至急 (至急) 普通 LTF		

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 房 長 下 協議先 官房総務参事官 官房書記官 人事課長	主管 アメリカ局長 参事官 北米課長	主管局部課(室)名 米北 起案 昭和43年9月20日 起案者 東京 672
--	-----------------------------	--

人事課長	会計課長	総務室長
------	------	------

大使 臨時代理大使 総領事 代理	あて 外務 大臣 発
電 在 大使 臨時代理大使 報 総領事 代理	あて

件名 高瀬代表の上京
総務長官より
貴電才114号に渡し
許可す。なお、本件外務大臣と協議済。

200 93

済

(※印刷内は電信記号)

本件及以降の電信記号は5/10迄保留するもの

(昭和四二・七・一改正)

GB-1

官房長	アメリカ局長
官房総務参事官	参事官
官房書記官	北米課長
人事課長	会計課長
総務室長	在外公館参事官
高瀬大使の上京日程の変更	
43.9.21 北米課	
特達向総務長官田原氏より連絡の よすは高瀬大使の上京が次のとおり変更	
に於て由で、先方より決められた 電報を打電しない由。	
1. 日程	9月24日 20時40分 羽田着 (JAL 722)
	9月29日 08時00分 羽田発 (NW 1)
2. 宿舎	令息(高瀬宏郎)宅 吉田谷代用

GA-5

外務省

5521

3-39-7 電話(421) 2173

3 備考 林田秘書長 9月23日 21:05
羽田着工 上京、帰途 中大使
(NW 4)
と同じ。

高瀬大使日程 (記録)

43.9.27
米北

- 9月25日(水) 10:00 田中總務長官 (長官室)
- 10:50 三木外務大臣 (大臣室)
- 9月26日(木) 14:30 小川芳雄大臣 ()
- 9月27日(金) 10:00 福田幹事長 (幹事長室)
- 11:30 佐藤總理大臣 (官邸)
- 9月28日(土) 10:30 園田厚生大臣 (大臣室)

43. 11. 5 特急347

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外官	事務次官	官自審審長	候(人)會	総(文)電厚	個移長	国資長	了(北)東	長(中)西	米(北)南	歐(参)東	近(参)ア	産(次)南	長(一)道	経(参)協	協(政)経	長(国)経	条(参)規	国(参)社	長(政)経	参(内)外	長(道)外	文(京)文
事務次官	官自審審長	候(人)會	総(文)電厚	個移長	国資長	了(北)東	長(中)西	米(北)南	歐(参)東	近(参)ア	産(次)南	長(一)道	経(参)協	協(政)経	長(国)経	条(参)規	国(参)社	長(政)経	参(内)外	長(道)外	文(京)文	
68年11月5日11時11分	ナハ	米北	外務大臣殿	高瀬	大使	臨時代理大使	添領事	代理														
68年11月5日4時48分	本省	米北																				
高瀬代表の上京																						
オ128号 平																						
本代表、11月14日 JAL 904にて奉																						
北発、11月20日 JAL 905にて帰任の																						
予定を以て上京いたしつき御許可相																						
成りたい。																						
(3)																						

(回覧番号) 外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印)	符号表示	総第	51229号
平文	暗略 (平)	昭和	年 月 日 時 分
	第	71号	43. 11. 5 18. 38
	大至急・至急・普通	LTF	発電係

大臣 代官	事務次官	外務審議官	官房長	主管	アメリカ局長	参事	北米課長	主管局部課(室)名	米北
								起案 昭和43年11月5日	
								起案者	青川 445

協議先	官房総務参事官	人事課長	会計課長	総務課長	官房書記官

在	高瀬	臨時代理大使	総領事	代理	あて	佐藤	大臣 発
電		大使	臨時代理大使	代理	あて		
転		総領事	代理				
報							

件名

高瀬代表の上京

総務長官より

貴電オ128号に用い、

許可す。 本件外務大臣と協議

す。

空済

5-74

(※印刷内は電信課記入)

本件特達局及び川課長との話し合い、佐藤 (昭和四三七一改正)

特急 3部

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に

電 話 番 号 (T A) 246111 主 管 米北

大政事外外官
務務 房
次次 官
臣官官密密長

68年11月06日11時00分
68年11月06日14時34分 本省 着

外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

總入會管計

文電厚給

領參旅移

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

高瀬代表上京について

文130号 平
往電文128号に照し
本使出張期間中、帝国ホテルのジュニア
スーツをリザーブ取りたい。

(3)

特急 3部

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に
連絡ありたい。

電 信 写

電 話 番 号 (T A) 246111 主 管 米北

大政事外外官
務務 房
次次 官
臣官官密密長

68年11月13日11時45分
68年11月13日12時59分 本省 着

外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

總入會管計

文電厚給

領參旅移

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

長參長

高瀬代表の上京

文134号 平 至急
往電文128号に照し
専方事務上の理由により明14日の帰京
を一時とりやめたきにつき御了承がいた
い。
なお、帝国ホテルの予約お取消し請う。

(3)

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政 外外官
務 務
次 務
官 審長

儀 会 管 計

総 文 電 厚 給
領 参 旅 移
移 長 領 德
長 國 務
長 關 折
長 北 東
長 中 西
長 参 保 中 参
長 北 國 密 南
長 歐 参 英
長 西 東
近 参 予
長 江

経 次 商 国 米 ア
六 關 統 防
長 總 国 統 防
一 通 外

経 参 経 賠
協 政 技 償
長 国 賠 経
系 参 協

長 条 規
国 参 算 社 專

長 政 経 科
情 参 内
長 道 外
文 文 文
長 一 二 三

総番号 (T A) 47977
 68年 11月 25日 11時 30分 予 八 飛 着 米北
 68年 11月 25日 14時 20分 本 省 着 米北

外務大臣殿 高瀬 大使

高瀬代表の上京について

才 137号 平

貴電米北才 71号 閣下

本使 11月 28日 (JAL 904) から 1週間の予定
 をもつて上京するにつれて出張期間中 帝国ホ
 テルの シニア スーツ を リザーブ ありたい。

(3)

至急

アメリカ局長

参事官

北米課長

高瀬大使 日程

43.11.25

諮詢委員會新垣事務官より、電報打
予定あり、取り敢えず通報打と12、下記、

とあり電話連絡越した。(11月25日09:45受)

高瀬大使は下記日程により上京打。

記

11月28日(木) 羽田着 22:20 JL904

約1週間滞在

帰任日取未定。

12月2日夜 次官 設宴

高瀬大使 日程 (記録)

43.12.8

米北

11月28日(木) 羽田着 22:20 JL904

12月2日(月)

15:50 外務大臣(大臣室)

17:00 大蔵大臣()

18:00 外務次官主催晩餐

3日(火)

12:45 総務長官(長官室)

14:30 総理(官邸)

5日(木) 14:30 田中前総務長官(参事官)

16:10 三木前外務大臣(参事官)

18:00 運輸省航空局長

主催晩餐

7日(土) 11:30 田中幹事長(砂浜会館)

8日(日) 08:00 羽田発 NW1

高瀬大使挨拶先

1. 政府関係

- 2) { 総理 佐藤 栄作
- 総務長官 田中 龍夫
- 総務副長官(政務) 八木 徹雄
- " (事務) 弘津 恭輔
- 総政府特別地域連絡局長 山野 幸吉

2. 国会関係

- (1) 衆議院沖縄内閣^閣特別委員会
- 2) 委員長 床次 徳二 (自)
- 2) 理事 白井 莊一 (公)
- 川崎 寛治 (社)
- 永末 英一 (民)
- 渡邊 部一 郎 (公)
- (2) 参議院沖縄内閣特別委員会
- 2) 委員長 伊藤 五郎 (自)
- 理事 岡田 宗司 (社)
- 黒柳 明 (公)

(注) 〇印付 郵便外取付の上 陸路
無印付 郵便外取付の上 議員会館
に赴き 不在の場合に別荘に置く

3. 自民党関係

- 幹事長 福田 赳夫
- 政務調査^室長 大平 正芳
- 総務会長 橋本 登美三郎
- 沖縄内閣特別委員会委員長 安井 謙

(注) 郵便外取付は行かず
面会困難の場合に別荘に置く

4. 民間関係

- 南方同胞援護会長
- 2) (沖縄内閣等懇談会会長) 大平 信泉

高瀬大使 日程

2月19日(月)

09:30-09:45 瀬谷港代訪^港

10:00-12:45 特車局K上子説明会
於赤坂71以・赤坂^港

(内向一時11:10-11:40 豊光工元訪内)

13:00-14:00 床次議員往訪懇談
於泉津員会館

14:30-15:00 水田大蔵工元訪内
(大蔵省大元室)
於

2月20日(火)

16:30-17:00 安井津員訪内
(於津員会館)

高瀬大使 日程

2月20日(火)

11:00~11:30 労働省労働局長来訪
於外務省大元使室(421)

14:30~15:30 末次建政全会来訪
於外務省大元使室(421)

16:00~16:15 瀬谷港代訪内^{於赤坂71}

16:30~17:00 安井津員訪内
於参議員会館 730号室

(予定) 17:00~17:30 白井荘一議員訪内
於参議員会館 209号室

4.2.20
北米課

高瀬大使日程

2月21日(水)

~~10:45~~
11:00

増田防衛大臣表敬訪問
礼大臣室

11:30

青森朝日新聞編集委員来訪
礼大使室

12:30

志田東銀常務との会食
礼共非

15:00

ソコソソ米大使表敬訪問
礼大使執務室

16:00

Vass公使等と懇談
礼北米局長室

16:40

小川芳徳大臣訪問
礼大臣室

17:00

大山伸徳信界問題研究会
事人局長来訪
礼421号室

日記記者取材(5-6-7分)
礼大使室 外務省

GA-6

高瀬大使日程

2月22日(木)

10:00

天皇拝謁

12:00

椎名通産大臣表敬訪問
(礼大臣室)

12:30~14:00

防衛庁長官保善との
会食(礼山の茶屋)

14:30~15:30

小川大使との懇談
(礼大使室)

16:00

赤沢自治大臣表敬訪問
(礼大臣室)

17:00

大江大使夫人と懇談(礼霞会館)

18:30

三木外務大臣主催夕食会
(礼賀寿老)

GA-6

外務省

高瀬大使日程

2月23日(金)

10:00 岩井氏と懇談
於 大使室

12:00 田尻氏と会食
於 霞山ビル(8階)

15:00 佐友高事 日高取締役
日野白印 内田幸男
と懇談 於 大使室

17:00 岸本琉球政府予仲内若未訪

17:30 金高又一(佐)記者との懇談
於 ホテルオークラ 582-011
1-1-11

18:30 法務事務次官主催の宴会
於 かつら

高瀬大使日程

2月24日(土)

10:00~10:30 朝日新聞「顔」
欄取材
於 大使室

12:30~14:00 床次議員主催
大使激励会
於 芝東京プラザ
ホテル(11階)

高瀬大使日程

2月26日(月)

10:30

日本郵船須賀常務
との懇談 松本便室

11:00

伊藤五郎 議員訪問
松本洋員会館44号室

11:20

日本画報 若田氏との懇談

14:30

ビルマ大使館往訪

15:30

外支調査会原付来訪

18:00

近藤外務省案件官主催
宴会(マリン公園、ナ
石川等) 松田川

2月27日(火)

8:30 ~ 11:00

外務省・特達局
連経会津

松本赤坂2123号
Rm. 27B

(近藤、原、保、高、若、藤、
石川、白川、川)

局長、和見如何、OK.

大使のアポイントメント取付
要請2件

1. 琉球放送が 2月29日(木)午後6時
より30分向(都合により2日 15分向
にても可) レクチャーを申し込
み如何。

2. 沖縄テレビが 3月4日(月)の午前
10時より午後4時(30分)の向
10分向を15分レクチャーと申し
込む事について、この都合如何。

以上2件とも 非漫形式にて
好く大使の抱負を語って頂
きたい由。

東京

GA-6

外務省

高瀬大使へ

報道深谷より

大使用 車急ホテル スイートの
確保について

報道深谷より TBS側に当方の事情

を説明し、TBS社を用として既に予約

済のスイートの譲渡を申し込みたい

TBS側は、「事情はよく了解した

ましのついでに 適当な部屋を同
「関係先である琉球放送を通い

ホテル内にてお話しの上、これが確保

できるときに改めて正式の返事

をいたします。」旨 中間返事を

いたしました。

GA-6

(3時30分 東京 外務省)

(回覧番号) 10208 外務省電信案 (分類)

機密表示 (機密・秘の朱印)	符号表示 暗 略 <u>平</u>	※ 総第 56003 号
平文	※ 第 77 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 秒 43.12.5 18 09
	大至急 <u>至急</u> 普通 · LTF	※ 発電係 <u>11</u>

電信課長 代浦

(※印欄内は電信課記入)

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米課長代	主管局部課 (室) 名 米北 起案 昭和43年12月5日 起案者 吉川 水 電話番号 225
---	------------------------------	---

協議先

大使 臨時代理大使
在那覇 代理 愛知 大臣 発
言語同僚代表 総領事

電 在 大使 臨時代理大使 あて
報 報 総領事 代理

件名 高瀬大使帰任日程

高瀬大使は 8日 NW 122 帰任す。

5 - 88 (3)

写 済

(昭和四二・七一改正)

GB-1

43. 12. 23 特連3行

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

外務省	外務大臣	参事官	参事官	参事官	参事官	参事官	参事官	参事官	参事官	参事官	参事官	参事官	参事官	参事官	参事官	参事官	参事官	参事官	参事官
-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

総番号(TA) 52/28 主管 米北
 68年12月23日 10時05分 ナハ 参着
 68年12月23日 12時19分 本省 参着
 外務大臣殿 高瀬 (大使 臨時代理大使 総領事 代理)
 (高瀬大使の上京)

往電第145号 平
 年末年始の休暇と利用し報告お合せのため12月30日より1月5、6日まで上京致したきにつきお許可相成りたい。
 (3)

外務省

外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印) 符号表示 暗 略 (平) 総第 58427 号
 第 81 号 ※昭和 年 月 日 時 分 発
 大至急 (至急・普通・LTF) 発電係 報

大 臣	政 務 次 官	政 務 次 官	事務次官	外務参議官	外務参議官	参事官	参事官	北米課長
主管		参事官		北米課長		参事官		

主管局部課 (室) 名 米北
 起案 昭和 68 年 12 月 23 日
 起案者 吉川 電話番号 445

協議先

大 使 臨時代理大使
 在那覇 高瀬 総領事 代理
 大 使 臨時代理大使
 在 転 報 総領事 代理

件名 高瀬大使の上京
 参事官より
 貴電第145号に用し、
 許可す。なお、本件外務大臣と協議せず。
 追って、~~出迎えの都合上、航空機が、ワシ~~
 ナンバー及び宿舎確保の要旨目電ありたい。

23-85

(※印内は電信係記入)

GB-1

43.12.24 @ 続き3p

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政掌外外傳
務務〇房
次次〇
臣信信密密長
儀人会營計
文電厚給
額參旅移
移長領印
國資長
ア〇北東
長中西
米參保中參
長北密南
歐參ア
長西東
近參ア
近
經
參國米ア
調二カ
歐
統ラ
近
一運ス
經參經賠
協攻技賠
長國賠
參協
規
國參軍社專
長政經科
參内
道外
文文
長二

總務号 (I A) 52375
 03 年 12 月 24 日 10 時 17 分 ナ ハ 密 北
 08 年 12 月 24 日 14 時 07 分 本 省 着

外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

高瀬大使の上京

オ146号 平
 貴電米北オ81号に因り
 フライトナンバー (JAL) 906 羽田着 14時50
 分 宿舎 帝國ホテル (留保済み。但し「ハヤシダ」秘
 書を帯同するクツき同人分の「ミシングル」室
 予約おき願う。)

(了)

10460 外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の未印)	符号表示 暗 略 平	※ 総第. 1. 66 号
平文	※ 第 / 号	※ 昭和 年 6 月 18 日 時 分 発
	大至急・至急 普通・LTF	※ 発電係

大 臣 政 務 次 官 事 務 次 官 外 務 審 議 官 外 務 審 議 官 官 房 長	主管 アメリカ局長 参事官 北米課長	主管局部課(室)名 米北 起案 昭和44年1月6日 起案者 吉川 電話番号 445
--	-----------------------------	--

協議先

在 那 覇 語 向 委 代 表 総 領 事 臨時代理大使 あて 夏 知 大 臣 発

電 報 在 大 使 臨時代理大使 あて 総 領 事 代 理

件名 高瀬大使帰任

客年貴電第145号に因り

高瀬大使は予定を変更し、8月26日9時

に帰任予定につき、7月9日語向委員会

に身延打合せ、米琉代表に連絡ありたい。

(3)

電信課長

AV

○

○

○ 字 済

6 57

(※印刷内は電信課記入)

本件認め奉任々米調査官に電話済み (昭和四十四年) 改正

GB-1

総理府 5部

注意
 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 13945
 69年4月3日13時42分 ナハ 発 米北
 69年4月3日15時41分 本省 着 米北
 外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 總領事 代理

高瀬大使上京 (連)

号外平

本使、4月8日18時20分当地発20時20分貴地着ノーエ4便にて上京し、1週間程滞在いたしたいので御許可ありたい。
 なお帝國ホテル留保方よろしくお取計ありたい。

(3)

外務省

万博

大 政事外外官
 務務 房
 次次 長
 官官 審審長
 綴綴 文文(給)
 綴綴 人 原原計
 綴綴 資 参 閣 折
 綴綴 長 参 領 旅 移
 綴綴 長

参 北 東 経
 長 中 西 経
 参 北 批 保
 中 南 經
 参 西 東 洋
 長 西 惠

参 審 近 ア
 次 参 總 經 國 万
 参 貿 統 團
 参 政 技 二
 長 参 協 長 会 国 一 理
 参 務 協 規
 参 政 經 科
 参 社 政
 参 道 内 外
 綴綴 長

(回覧番号) 外務省電信案 (分類)

機密表示(標紙・印)	符号表示 暗 略 平	総第 15336 号
平文	第 19 号	昭和44年4月3日18時53分
	大至急・至急・普通 LTF	発電係

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 原 長	主管 アメリカ局長 参事官 北米才一課長	主管局部課(室)名 米北一 起案 昭和44年4月3日 起案者 吉川 電話番号 KK5
--	-------------------------------	---

協議先 人事課	大使 臨時代理大使 高瀬 代理 床次長官 在 那 羅	電 報 在 報 大使 臨時代理大使 總領事 代理
------------	----------------------------------	--------------------------------

件名
 高瀬大使上京 (連)
 貴使京請の上京の件(連) 許可あり。
 (3)

3 134

字 濟

特選局と協議あり(吉)

(昭和四二七一改正)

GB-1

アメリカ局長
参事官 } コピー配付
北米第一課長

高瀬大使上京 五

KK. 5.26
米北一

特連局 總務課(朝川補佐)より認因委
村田参事官より連絡あり。高瀬大使は

下記日程により上京の旨及び送迎、宿舎
角保等は特連局へお願いの旨通報

越したるに、右未知らせし奉。

記

5月27日(木) 19:30 羽田着 NW 4
(宿舎 帝國ホテル)

30日(金) 11:45 発 JL 721

(なお、佐々木調査官の堂、服部参事官に同様
の連絡をいたしました。)

処理済 5

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 22347 主管
69年5月26日11時27分 ナハ発
69年5月26日16時00分 本省着 米北一
外務大臣殿 高瀬大使 臨時代理大使 総領事 代理

高瀬大使上京(連)

文39号 平

本使、事務打合せのため5月27日、ノース4便(17時15分)にて当地発、5月30日JAL721便(11時45分)にて帰任の予定を以て上京いたしたいので、ご許可ありたい。

なお、本使出張期間中、帝國ホテルのジュニアスーツセリザーブありたい。

(3)

外務省電信案 (分類 24180)

機密表示 (極秘・秘の朱印)	符号表示 暗 略 平	総第 24180 号
第 28 号	昭和 44 年 5 月 26 日 20 時 37 分	発電係
大至急	至急	普通

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 房 長	主管 アメリカ局長 参事官 北米才一課長代	主管局部課 (室) 名 北一 起案 昭和 44 年 5 月 26 日 起案者 209 電話番号 446
--	--------------------------------	--

協議先
人事課長

那覇日報 臨時代理大使
在 高瀬

大臣 臨時代理大使
あて 愛矢 大臣 発
総領事 代理

電 在 大使 臨時代理大使
報 在 総領事 代理 あて

件名 高瀬 大使 上京 (連)

貴電沖 39 号 に関し

許可あり。

許可あり。

字 済
26 124

(※印欄内は電信課記入)

(昭和四二七一改正)

GB-1

ソカヒヒ 万博

大政事外外務省
事務次官 典房
官官審議官長 長
備官官審議官 官

参事官
参領旅移

参地中東
長 北東西
参北北
参西東洋
長 西東

参近ア
次経経国万
参買統
参政技二
国一理
参協規
参政経科
専社専
参道内外
文長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

69 年 6 月 30 日 16 時 08 分 本 省 着
69 年 6 月 30 日 15 時 48 分 本 省 着

外務大臣 殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

本使上京について

才 5/1 号 平
貴電米北 1 才 30 号 並 代 才 31 号 に関し

本使 7 月 3 日 ノース 便にて 当地 発
(17 時 15 分) 約 1 週間 の 予定 を もつ
て 上京 致 したい の で 御 許 可 あり たい。

なお、今回は ホテル 不要 と つき 念 の ため。

(了)

高瀬 代表 訪 米

(回覧番号 1434) 外務省電信案 (分類)

機密表示 (機密・秘の朱印) 平文	符号表示 暗 略 平	総第 30410 号
	第 32 号	昭和 年 月 日 時 分 秒 44.6.30 19.40
	大至急 至急 普通・LTF	発電保 オ

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官打込 北米才一課長	主管局部課(室)名 米北一 起案 昭和44年6月30日 起案者 吉川 電話番号 445
---	---------------------------------	---

協議先
人事課長 **B**

大使 臨時代理大使

在 那霸 高瀬 総領事 代理 大臣 発 受 知 大臣 発 受 知 床次 参事官

電 在 大使 臨時代理大使 代理 受 知 大臣 発 受 知 床次 参事官

件名
高瀬大使の上京(連)

貴電第51号に用い.

許す事.

(3)

字 濟

30 104

(※印刷内は電信課記入)

特電局と協議済み(米北一)

(昭和四二七一改正)

GB-1

ソカ 万
ビヒ 博

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

大政専外外儀官
務務 典房
次次 長長
臣官 長長
備備 長長
人厚計
國参調折企
資長領移長
長

電信写

総番号(TA) **45336** 主管
69年/0月9日11時30分 十 八 発 **米北/**
69年/0月9日13時49分 本 省 着

外務大臣殿 高瀬 **大使** 臨時代理大使 総領事 代理

本使上京(連)

才82号 平

本使18日当地発約2週間の予定をもちて事務打合せのため帰朝した11の御許可ありた11。

ア 参地中東
長 北西
米北保
中南
参一
参西東洋
長 西
近 参書近
了長 次総経國万
長 参實統國
経協長 参政技二
条 国一理
長 参条協規
国 参政経科
長 専社専
情長 参道内外
文 一

外務省

- シカヒ
- カヒ
- 万大 障版
- 大政事外外領官
- 次次 典房
- 五官官審審長長計
- 儀給
- 儀書文會管給
- 國資長領移長
- 参調折企
- 参領旅移
- ア 参地中東
- 長 北東西
- 米長 北北保
- 中南審歌
- 参一
- 参西東洋
- 西東
- 近ア長
- 参書近ア
- 次総経国万
- 参貿統
- 参政技二
- 国一理
- 参条協規
- 参政経科
- 軍社専
- 参道内外
- 文長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

254

総番号(TA) 3240 主管
 70年1月26日10時50分 ナハ 猪 米北
 70年1月26日13時35分 本省 着 米北
 45年
 外務大臣殿 高瀬(大使)臨時代理大使 総領事 代理

本使上京

※8号 平
 往電 4号に因り
 本使1月31日(土)ノース10便(1750)にて吉
 地発、約10日間の予定をもちて上京致した
 きに、つき却許可相成りた
 左方上記期間中帝國ホテルのジユニアス
 一ツおまみ秘書用ジニケル各1室留保方お
 願ひ申し上ぐ
 追つて、今回の上京には林田秘書おまみ新
 垣事務官を帯同する予定。

(3)

- シカヒ
- カヒ
- 万大 障版
- 大政事外外領官
- 次次 典房
- 五官官審審長長計
- 儀給
- 儀書文會管給
- 國資長領移長
- 参調折企
- 参領旅移
- ア 参地中東
- 長 北東西
- 米長 北北保
- 中南審歌
- 参一
- 参西東洋
- 西東
- 近ア長
- 参書近ア
- 次総経国万
- 参貿統
- 参政技二
- 国一理
- 参条協規
- 参政経科
- 軍社専
- 参道内外
- 文長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

175

総番号(TA) 15228 主管
 70年4月6日12時15分 ナハ 猪 米北
 70年4月6日14時53分 本省 着 米北
 外務大臣殿 高瀬(大使)臨時代理大使 総領事 代理

觀揚会

等39号 平

ヲハト等4名(修振待賜わ)
 有難くお礼申しあげ。
 本使1日(土)当地祭1週間9予定を
 もつて一時帰朝致し、此にス、許可
 した。なお帝國ホテル等1新館
 ジユニアス1室予約方お指図方
 願ひたい。(3)

(回覧番号 24) 外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の未印) 平	符号表示 暗 略 平	※ 総第 19633 号
	※ 第 21 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 発 45.4.14 18.29
	大至急・至急・普通・LTF	※ 発電係 十持又

電信課長
代
散

(※印欄内は電信課記入)

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米第一課長	主管局部課(室)名 米北1 起案 昭和45年4月14日 橋本以物 起案者 石河 電話番号 446
---	-------------------------------	--

協議先

大使 臨時代理大使
在那霸 賀陽 日政社代表 総領事 代理
あて 愛知 大臣 発

電報 在那霸 岸中 總事務所長 総領事
大使 臨時代理大使
あて 代理

件名 高瀬大使 帰任

高瀬大使は 19日 JAL 721にて
帰任す。

沖繩事務所長へ転電 1件。
(3)

字
濟

14 91
22

(昭和四二・七・一改正)